

# 1. 全国生涯学習ネットワークフォーラム2012について

資料2

日時：平成24年10月26日(金)～11月18日(日)

場所：宮城県・福島県・岩手県

主催：全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会

(文部科学省、宮城教育大学、福島大学、岩手大学等の大学及び附属学校、生涯学習関係団体やNPO等の関係者により構成)



ボランティア  
活動実践者

## テーマ：学びを通じた絆づくりと活力あるコミュニティの形成

東日本大震災の復興に向けた取組から見えてきた成果や課題を踏まえて被災地において分科会を実施

○様々な主体(地方公共団体、大学、NPO、生涯学習関係団体、企業等)と連携した、「新しい公共」型の運営

○東日本大震災からの復興に向けた取組等から見えてきた成果や課題を踏まえ、「学び」を媒介にした地域づくり、絆づくりのための課題解決型活動の推進について研究協議しその成果を発信



生涯学習  
関係団体



大学

学校



企業



NPO



行政



- ・生涯学習の成果を適切に生かすことができる社会の実現
- ・「新しい公共」による地域づくり、社会づくりの全国展開
- ・関係者(行政、大学、NPO等の団体、企業)等によるネットワークの充実

## 2. 全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 分科会一覧

10月26日(金)	ICT分科会 (宮城教育大学附属学校園(小学校・中学校・特別支援学校)) 「ICTを活用した21世紀にふさわしい学びの創造」 災害時におけるICTの活用方策やこれからの教育におけるICTの果たす役割・展望について、教育委員会職員、教員、企業等が集まり、情報交流を行う場を設けることにより、ICTを活用した21世紀にふさわしい学びと安全・安心な学校の創造に寄与する。	公開授業、公開研究会 基調講演 展示・体験ブース トークセッション パネルディスカッション ポスターセッション
10月27日(土)		
11月 3日(土・祝)	宮城分科会 (宮城教育大学) 「つながりを持った教育復興、復興教育と地域創造」 多種多様な教育の復興、復興教育そして地域(社会)の復旧・復興を推進するために、志を同じくする団体等が繋がりを持って取り組むことで創造的復興社会を目指す。	オープニングセレモニー 基調講演 事例発表 取組報告 パネルディスカッション 熟議 クロージングイベント 等
11月 4日(日)		
11月10日(土)	福島分科会 (コラッセふくしま) 「若者達が活躍する『持続可能なまち・地域・社会』」 次世代を担う学生や若手社会人を中心に、震災ボランティア活動等を通じて見えてきた地域独特の課題や回復可能性、そのために必要となる仕掛けや仕組みについて、市民やシニア層も交えて、同じ目線で語り合う。	
11月11日(日)		
11月17日(土)	岩手分科会 (岩手大学) 「まちづくりと人材養成」 今後のまちづくりを担う次代の人材を養成するために、現役世代から高齢者まで全ての地域住民を巻き込める(地域住民が対象となる)学習活動や方法を関係機関、NPO等と協働することで開発し、発信する。	
11月18日(日)		



# 3. ICT分科会「ICTを活用した21世紀にふさわしい学びの創造」

開催日 平成24年10月26日(金) 10:00~16:40 ・ 27日(土) 9:30~13:30

会場 宮城教育大学附属学校園(附属小学校・中学校・特別支援学校)

26日(金)【附属小学校・中学校・特別支援学校】

## 公開授業

宮城教育大学附属学校園において、ICTを活用した授業を実施  
(小学校6コマ、中学校2コマ、特別支援学校4コマ)



小学校 2年 (図画工作)



小学校 2年 (体育)



小学校 4年 (社会)



中学校 2年 (理科)



中学校 3年 (国語)



特別支援学校 小学部 3,4年  
(ことば、かず)

## 公開研究会

公開授業におけるICT  
活用のポイント等  
について総括



## ポスターセッション

各校の教育の情報化に関連した取組の発表

- ・小中学校5団体  
寒河江市立高松小学校、秋田県八峰町立水沢小学校、十和田市立北園小学校、上越教育大学附属中学校、春日学園(つくば市立春日小学校、春日中学校)
- ・特別支援学校5団体  
佐賀県立中原特別支援学校、香川県立高松養護学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、愛知県立みあい養護学校、沖縄県立森川特別支援学校(沖縄県立総合教育センター)



27日(土)【附属小学校・中学校】

## 基調講演

「21世紀にふさわしい新たな学びの創造」

正解のない課題の解決のためには、多様な考え方に出会って、新たな知を創造する協働学習が大切で、そのための学習環境としてICTが重要な役割を果たすことを、先進的な実践例と公開授業のビデオを示しながら講演



## トークセッション

「教育の情報化に対する期待について」



国、県教委、大学がそれぞれの立場で、教員のICT活用指導力向上等について意見交換

## パネルディスカッション

「教育の情報化の現状と今後の展開」



ICTを活用した教育によって、子どもたちの自立・協働・創造する力を育てている現状や今後の可能性について

## 展示・体験ブース

タブレットPC等のICT機器やデジタル教材等の教育用ソフトを展示・体験





# 4. 宮城分科会「つながりを持った教育復興、復興教育と地域創造」

開催日 平成24年11月3日(土・祝) 10:00~17:40 ・ 4日(日) 10:00~15:30

会場 宮城教育大学

3日(土・祝)

## 歓迎行事・開会挨拶

- ・仙台市立鶴巻小学校2年生児童による「かんちょろりん節」
- ・宮城教育大学公開講座受講生による「秋田おぼこ」「津軽じょんから節」
- ・宮城教育大学・雅座「さんさ踊り」



笠文部科学副大臣による挨拶

## パネルディスカッション 「地域復興と復興教育」

宮城県等における地域復興や、防災教育の取組を発表し、成果や課題等について議論

- ・大学生を活用したボランティア活動、学生たちの育成
- ・復興教育の普及・啓発、コミュニティづくりへの支援



## 基調講演

「『震災復興』に学ぶ」

高橋 孝助 氏 (一般社団法人創造的復興教育協会代表理事)



## 事例報告

- ① 教育復興「教育現場の復興と復興人材の育成」  
進行：宮城教育大学教育復興支援センター特任教授 阿部 芳吉 氏  
報告者：仙台市立榴岡小学校校長 久能 和夫 氏  
仙台市立七郷中学校校長 佐藤 一弘 氏  
仙台市教育委員会学びの連携推進室主任兼指導主事  
／前女川町立女川第四小学校校長 今野 孝一 氏
- ② 創造的教育復興「NPOにおける教育復興『ヤングアメリカンズアウトリーチ』」  
報告者：NPO法人じぶん未来クラブ代表 佐野 一郎 氏
- ③ 地域復興「行政や大学による地域復興の取り組み『学都仙台コンソーシアム復興大学』」  
報告者：東北工業大学学長／学都仙台コンソーシアム復興大学事業代表 沢田 康次 氏



## ポスターセッション



- ①アーティスト・イン・児童館
- ②大塚製薬株式会社
- ③仙台管区气象台
- ④+arts (NPO法人プラス・アーツ)
- ⑤ほっとスペース石巻
- ⑥いしのまきカフェ「」(かきかっこ)
- ⑦一般社団法人創造的復興教育協会
- ⑧宮城教育大学教育復興支援センター
- ⑨都留文科大学災害ボランティアチームVS(バーサス)
- ⑩山梨県都留市活性化コンソーシアム Re:Tsuru (リツール)
- ⑪学都仙台コンソーシアム復興大学
- ⑫学校と地域の融合教育研究会
- ⑬学生ボランティア団体等

## 学生ボランティア報告会



宮城教育大学、東北学院大学の学生ボランティア活動報告

4日(日)

## 熟議

「学びを通じた絆づくりと活力あるコミュニティ形成

～一人一人にできること～

「熟議の進め方」

戸田 達昭 氏 (やまなしの翼プロジェクト代表/シナプテック株式会社代表取締役)



## 熟議の報告と講評



宮城教育大学、東北大学、東北学院大学、北海道教育大学、愛知教育大学、福岡教育大学、上越教育大学、都留文科大学、早稲田大学の学生やNPO・企業・大学関係者等により構成された熟議10チームによる報告

## 閉会イベント

宮城教育大学チャリーディングサークル (smilax) による演技



中井宮城分科会企画実施委員会座長(宮城教育大学理事・副学長)によるまどめの講話